



2026年4月1日

各位

会社名 クリングルファーマ株式会社
 住所 大阪市北区中之島四丁目3番51号
 Nakanoshima Qross 未来医療R&Dセンター10階
 代表者名 代表取締役社長 安達喜一
 (コード番号: 4884 東証グロース)
 問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
 TEL. 06-7653-6728

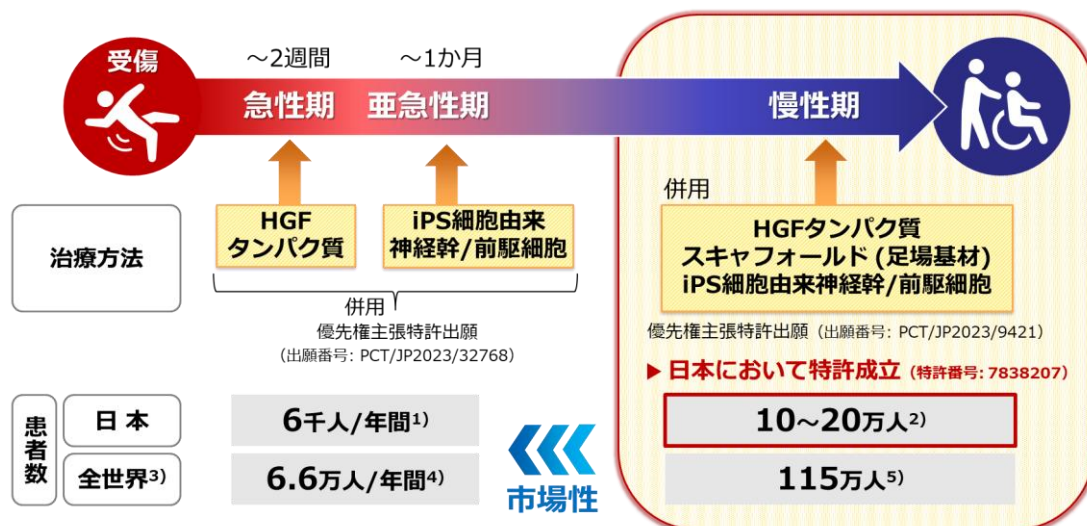
慢性期脊髄損傷の治療剤に関する特許登録のお知らせ

当社は、学校法人慶應義塾（理事長：伊藤 公平、以下「慶應義塾大学」）と共同で出願していた慢性期脊髄損傷を対象とする新たな治療剤に関する特許（以下「本特許」）が、このたび、日本において特許登録されましたので、お知らせいたします。

- 【発明の名称】 脊髄損傷治療剤
- 【出願人】 慶應義塾、クリングルファーマ株式会社
- 【特許番号】 特許第 7838207 号

本特許は、脊髄の神経線維を切断した完全脊髄損傷モデル動物の慢性期において、慶應義塾大学が開発するヒト iPS 由来細胞移植と、当社が開発する肝細胞増殖因子（HGF）を含有するスキャフォールド（足場基材）を併用することにより、運動機能と排尿機能の回復が認められた研究成果*に基づくものです。

当社は現在、急性期の脊髄損傷を対象とした HGF 治療薬の開発を進めており、第Ⅲ相臨床の追加試験の準備を行っています。一方、本特許は、慢性期脊髄損傷を対象とする新たな治療アプローチをカバーする知的財産であり、当社の脊髄損傷領域におけるパイプラインの拡張につながるものです。慢性期脊髄損傷は、有効な機能回復治療が確立されていないまま患者が長期にわたり蓄積する疾患領域であり、急性期と比べて患者数が多く、極めて大きな医学的・社会的アンメットニーズが存在します。当社は、本特許の権利化を踏まえ、慢性期脊髄損傷を対象とした新たな治療法の研究開発を引き続き推進してまいります。



*詳細は、慶應義塾大学医学部による 2023 年 2 月 1 日付けプレスリリースをご参照ください。

<https://www.keio.ac.jp/press-releases/files/2023/2/1/230201-1.pdf>

¹⁾Miyakoshi N et al. Spinal Cord 2021 Jun;59(6):626-634.

²⁾新宮彦助. 脊髄損傷の予防. 日本パラプレジア医学会雑誌 13:48-49, 2000、坂井宏旭. 疫学調査. 総合リハ 36:969-972, 2008

³⁾高度治療が可能な先進国

⁴⁾国内の患者数、National Spinal Cord Injury Statistical Center, Traumatic Spinal Cord Injury Facts and Figures at a Glance (2023)、総務省統計局「世界の統計 2023, 世界人口の推移」を基に当社推計

⁵⁾Traumatic Spinal Cord Injury Facts and Figures at a Glance (2023)、The International Spinal Cord Injury Society HP、総務省統計局「世界の統計 2023, 世界人口の推移」を基に当社推計

以上

HGF (Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子) について

HGF は、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGF は神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾大学再生医療リサーチセンター 岡野栄之教授及び同医学部整形外科学教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。また、ALS に対する薬理効果は、東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 青木正志教授らのグループの研究により示されました。新たな神経難病治療薬として、HGF への期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGF の抗線維化作用に着目し、線維化疾患である声帯癒痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGF には、声帯癒痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象に HGF タンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGF タンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする第Ⅲ相臨床試験を終了し、さらに追加臨床試験に向けた準備を進めています。また、声帯癒痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGF タンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。